

はじめに



本市の令和6年1月現在の高齢化率は、31.81%となり、住民のおよそ3人に1人が高齢者という社会を迎えております。

ひとり暮らしの高齢者や認知症高齢者が増える中、介護サービスの需要は今後、さらに増加することが見込まれている中で、これまで見えてこなかった、新たな課題が浮かび上がってまいりました。

以前は、家族や親せきなどが近隣に住んでいたことから、地域の連帯と交流による助け合いの基盤があり、地域や親族による高齢者への支援に対して、公的制度が補う形で柔軟な対応ができていました。

しかし近年、地域のつながりの希薄化や社会情勢の変化により課題が多様化しているため、新たな方策が必要となっています。

このたび策定しました第9期計画では、だれもが安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「日常生活支援」が一体となり、継続的に提供される津山らしい「地域包括ケアシステム」をさらに深化させ、推進していく指針を示しております。

今後は、本計画に沿って、高齢者一人ひとりが自分らしく、生きがいを持ちながら、元気に活躍することができる地域共生社会の実現を目指し、住み慣れた地域で、健やかに生活ができるよう、各施策に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、策定にあたり、津山市高齢者保健福祉・介護保険事業運営協議会をはじめ、アンケート調査等にご協力いただきました皆様に、心より御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

令和6年3月

津山市長 谷 口 圭 三